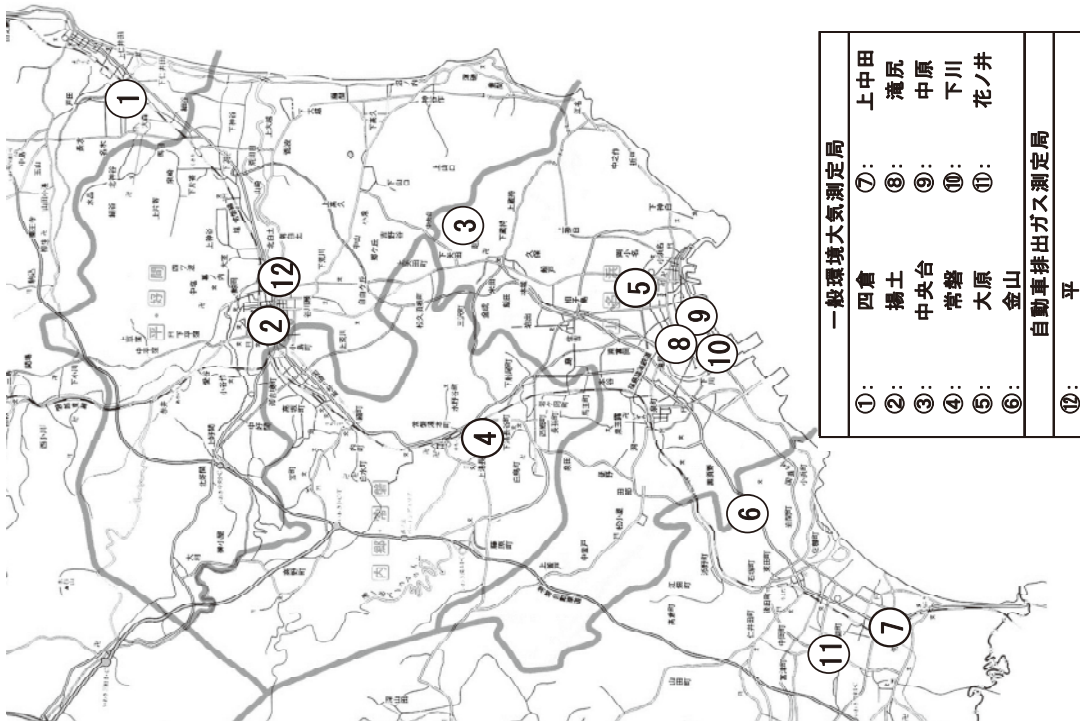


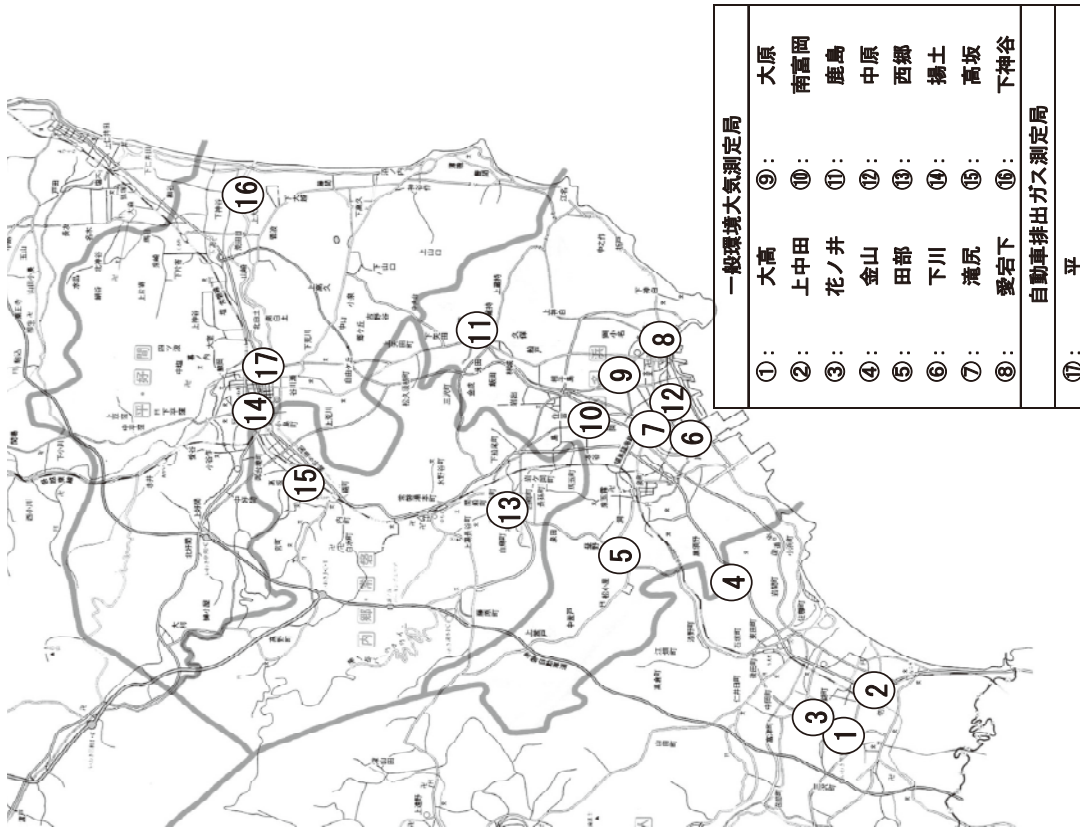
表3-3-4 大気汚染常時監視測定局

		平成24年3月31日まで						平成24年4月1日から ※																							
		測定項目						測定項目																							
番号	種別	測定局名	二酸化硫黄	窒素酸化物	浮遊粒子状物質	光化学オキシダント	一酸化炭素	非メタン炭化水素	番号	種別	測定局名	二酸化硫黄	窒素酸化物	浮遊粒子状物質	微小粒子状物質	光化学オキシダント	一酸化炭素	非メタン炭化水素													
1	一般局	大高	○	-	-	-	-	-	1	一般局	四倉	○	○	○	-	○	-	-													
2		上中田	○	○	-	○	-	-	2		揚土	○	○	○	○	○	○	-	-												
3		花ノ井	○	-	○	-	-	-	3		中央台	○	○	○	○	-	○	-	-												
4		金山	○	-	-	-	-	-	4		常磐	○	○	○	○	-	○	-	-												
5		田部	○	-	-	-	-	-	5		大原	○	○	○	○	-	○	-	○												
6		下川	○	-	-	-	-	-	6		金山	○	○	○	○	-	○	-	-												
7		滝尻	○	○	○	○	-	-	7		上中田	○	○	○	○	-	○	-	-												
8		愛岩下	○	○	○	○	-	-	8		滝尻	○	○	○	○	-	-	-	-												
9		大原	○	○	○	○	-	-	9		中原	○	-	-	-	-	-	-	-												
10		南富岡	○	-	-	-	-	-	10		下川	○	-	-	-	-	-	-	-												
11		鹿島	○	○	-	○	-	-	11		花ノ井	○	-	-	-	-	-	-	-												
12		中原	○	○	-	-	-	-	12		平	-	○	○	○	-	-	○	○												
13		西郷	○	○	○	○	○	-	-		自排局	-	-	-	-	-	-	-	-												
14		揚土	○	○	○	○	○	-	-		合計測定数	11	8	9	2	7	1	2													
15		高坂	○	○	○	-	○	-	-		※微小粒子状物質の測定開始時期は次のとおり。																				
16		下神谷	○	○	○	-	○	-	-		・揚土局：平成25年9月																				
17		平	-	○	○	○	-	○	-		・大原局：平成24年10月																				
合計測定数		16						10						7						9						1					

- 〔測定方法〕
- ① 二酸化硫黄 : 溶液導電率法及び紫外線蛍光法
  - ② 窒素酸化物 : ザルツマン試薬を用いる吸光度法及び化学発光法
  - ③ 浮遊粒子状物質 : β線吸収法
  - ④ 微小粒子状物質 : β線吸収法
  - ⑤ 光化学オキシダント : 紫外線吸収法
  - ⑥ 一酸化炭素 : 非分散型赤外線吸光度法
  - ⑦ 非メタン炭化水素 : ガスクロマトグラフ-水素炎イオン化検出法



(平成24年4月1日から)



(平成24年3月31日まで)

図3-3 大気汚染常時監視測定局の位置

表3-3-5 環境基準の達成状況

(平成25年度)

No.	種別	測定局名	測定項目								
			二酸化硫黄		二酸化窒素	浮遊粒子状物質		微小粒子状物質	光化学オキシダント	一酸化炭素	
			長期的評価	短期的評価		長期的評価	短期的評価			長期的評価	短期的評価
1	一般局	四倉	○	○	○	○	○	-	50	-	-
2		揚土	○	○	○	○	○	※	35	-	-
3		中央台	○	○	○	○	○	-	46	-	-
4		常磐	○	○	○	○	○	-	37	-	-
5		大原	○	○	○	○	○	○	33	-	-
6		金山	○	○	○	○	○	-	31	-	-
7		上中田	○	○	○	○	○	-	28	-	-
8		滝尻	○	○	-	○	2	-	-	-	-
9		中原	○	○	-	-	-	-	-	-	-
10		下川	○	○	-	-	-	-	-	-	-
11		花ノ井	○	○	-	-	-	-	-	-	-
12	自排局	平	-	-	○	○	○	-	-	○	○
測定局数			11	11	8	9	9	2	7	1	1
超過局数			0	0	0	0	1	0	7	0	0

(備考)

- 「○」は、環境基準の達成を示します。
- 数字(太字)は、測定項目別に、次のことを示します。
  - ・浮遊粒子状物質…1年間のうち環境基準を超過した時間数。
  - ・光化学オキシダント…1年間のうち環境基準を超過した日数。
- 「※」は、評価の対象外となります。(有効測定日数が250日未満。)

(1) 二酸化硫黄

11 測定局（すべて一般局）で測定した結果は表3-3(1)-1のとおりで、環境基準の長期的評価及び短期的評価ともに全11測定局で達成しました。

測定局の年平均値は表3-3(1)-3のとおりで、測定局別に前年度と比較すると、すべての測定局で「横ばい」<sup>(注1)</sup>となっています。

なお、全測定局における平均値（0.001ppm）は、平成24年度の県内平均値（一般局：0.001ppm）及び全国平均値（一般局：0.002ppm）と同程度の値となっています。

(注1) 「横ばい」とは、前年度との差が±0.005ppm未満の場合をいう。

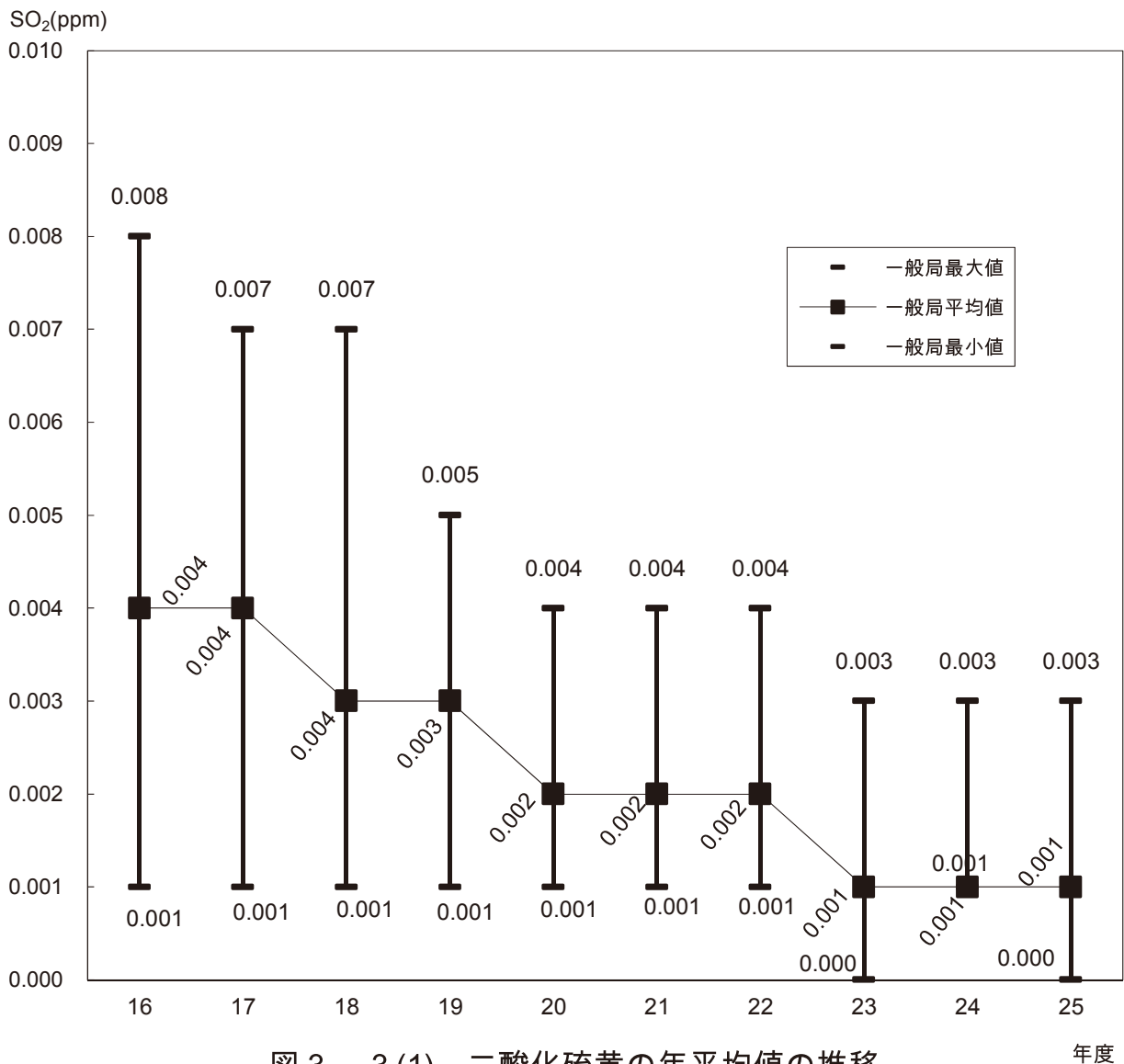


図3-3(1) 二酸化硫黄の年平均値の推移

表3-3(1)-1 二酸化硫黄の測定結果

(平成25年度)

種 別	測 定 局 名	用 途 地 域	有 効 測 定 日 数	測 定 時 間	年 平 均 値	短期的評価 ＜評価方法＞ 1時間値の1日平均値が 0.04ppm以下であり、か つ、1時間値が0.1ppm以 下であること。				1時間値 の最高値	長期的評価 ＜評価方法＞ 1日平均値の2%除外値が0.04ppm 以下であること。ただし、1日平均値 が0.04ppmを超えた日が2日以上連 続しないこと。		
						1時間値が 0.1ppmを超え た時間数とそ の割合		日平均値が 0.04ppmを超 えた日数とそ の割合			日平均値 の2%除 外値	日平均値が 0.04ppmを 超えた日が 2日以上連 続したこと の有無	環境基準の 長期的評価 による日平 均値が 0.04ppmを 超えた日数
						時間	%	日	%				
一 般 局	四倉	調整	364	8670	0.001	0	0.0	0	0.0	0.010	0.003	○	0
	揚土	住居	354	8485	0.001	0	0.0	0	0.0	0.021	0.003	○	0
	中央台	住居	364	8721	0.001	0	0.0	0	0.0	0.020	0.005	○	0
	常磐	住居	365	8662	0.002	0	0.0	0	0.0	0.026	0.005	○	0
	大原	住居	359	8605	0.003	0	0.0	0	0.0	0.039	0.012	○	0
	金山	調整	362	8602	0.001	0	0.0	0	0.0	0.023	0.002	○	0
	上中田	準工	365	8664	0.001	0	0.0	0	0.0	0.018	0.002	○	0
	滝尻	住居	362	8643	0.001	0	0.0	0	0.0	0.049	0.005	○	0
	中原	工業	364	8671	0.002	0	0.0	0	0.0	0.070	0.008	○	0
	下川	準工	365	8671	0.001	0	0.0	0	0.0	0.062	0.004	○	0
花ノ井	住居	365	8665	0.000	0	0.0	0	0.0	0.019	0.001	○	0	

表3-3(1)-2 二酸化硫黄の1時間値が0.1ppmを超えた局数と時間数

年度	出現割合 (m/n) <sup>※</sup>	時間数	測定局内訳							
			下川	中原	大原	南富岡	花ノ井	金山	鹿島	中原
9	2/16	11	下川8	中原3	-	-	-	-	-	-
10	2/16	4	下川2	中原2	-	-	-	-	-	-
11	1/16	1	中原1	-	-	-	-	-	-	-
12	8/16	27	上中田2	下川3	大原3	南富岡6	花ノ井1	金山2	鹿島1	中原9
13	16/16	54	大高4	上中田4	花ノ井4	金山2	大原2	南富岡1	鹿島2	中原2
			田部1	下川15	滝尻2	愛宕下1	西郷3	揚土4	高坂2	下神谷5
14	1/16	4	下川4	-	-	-	-	-	-	-
15	2/16	7	下川3	中原4	-	-	-	-	-	-
16	3/16	6	下川2	滝尻1	中原3	-	-	-	-	-
17	2/16	17	中原14	下川3	-	-	-	-	-	-
18	2/16	4	中原1	下川3	-	-	-	-	-	-
19	2/16	2	中原1	下川1	-	-	-	-	-	-
20	3/16	4	下川1	滝尻1	中原2	-	-	-	-	-
21	0/16	0	-	-	-	-	-	-	-	-
22	1/16	1	中原1	-	-	-	-	-	-	-
23	1/16	1	下川1	-	-	-	-	-	-	-
24	0/11	0	-	-	-	-	-	-	-	-
25	0/11	0	-	-	-	-	-	-	-	-

(備考) m:出現局数 n:二酸化硫黄測定的全測定局数

表3-3(1)-3 二酸化硫黄年平均値の経年変化

(単位:ppm)

種別	測定局名	用途地域	年度									
			16	17	18	19	20	21	22	23	24	25
一般局	四倉	調整	-	-	-	-	-	-	-	-	0.001	0.001
	揚土	住居	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001
	中央台	住居	-	-	-	-	-	-	-	-	0.001	0.001
	常磐	住居	-	-	-	-	-	-	-	-	0.002	0.002
	大原	住居	0.006	0.006	0.004	0.004	0.004	0.003	0.004	0.002	0.003	0.003
	金山	調整	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003	0.004	0.003	0.003	0.001	0.001
	上中田	準工	0.005	0.005	0.003	0.003	0.003	0.002	0.002	0.002	0.001	0.001
	滝尻	住居	0.006	0.005	0.005	0.004	0.002	0.002	0.002	0.002	0.001	0.001
	中原	工業	0.008	0.007	0.007	0.005	0.004	0.003	0.004	0.002	0.002	0.002
	下川	準工	0.005	0.004	0.003	0.002	0.002	0.002	0.002	0.001	0.001	0.001
花ノ井	住居	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003	0.002	0.001	0.001	0.001	0.000	
※参考	大高	調整	0.004	0.003	0.003	0.003	0.003	0.002	0.002	0.002	-	-
	田部	調整	0.004	0.003	0.003	0.003	0.002	0.001	0.001	0.001	-	-
	愛宕下	住居	0.004	0.002	0.002	0.002	0.001	0.002	0.002	0.001	-	-
	南富岡	工専	0.006	0.005	0.004	0.003	0.002	0.002	0.002	0.002	-	-
	鹿島	住居	0.004	0.003	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	-	-
	西郷	住居	0.004	0.004	0.004	0.004	0.003	0.001	0.001	0.001	-	-
	高坂	住居	0.002	0.002	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	-	-
	下神谷	調整	0.003	0.003	0.002	0.001	0.001	0.001	0.001	0.000	-	-
全測定局平均値			0.004	0.004	0.003	0.003	0.002	0.002	0.002	0.001	0.001	0.001

※平成24年3月31日で測定を終了した一般局。

(2) 二酸化窒素

8測定局（一般局7、自排局1）で測定した結果は表3-3(2)-1のとおりで、全測定局で環境基準を達成しました。

測定局の年平均値は表3-3(2)-2のとおりで、測定局別に前年度と比較すると、すべての測定局で「横ばい」<sup>(注1)</sup>となっています。

なお、一般局の年平均値（0.006ppm）及び自排局の年平均値（0.009ppm）は、平成24年度の県内平均値（一般局：0.007ppm、自排局：0.014ppm）と同程度の値で、全国平均値（一般局：0.011ppm、自排局：0.020ppm）を下回っています。

(注1) 「横ばい」とは、前年度との差が±0.005ppm未満の場合をいう。

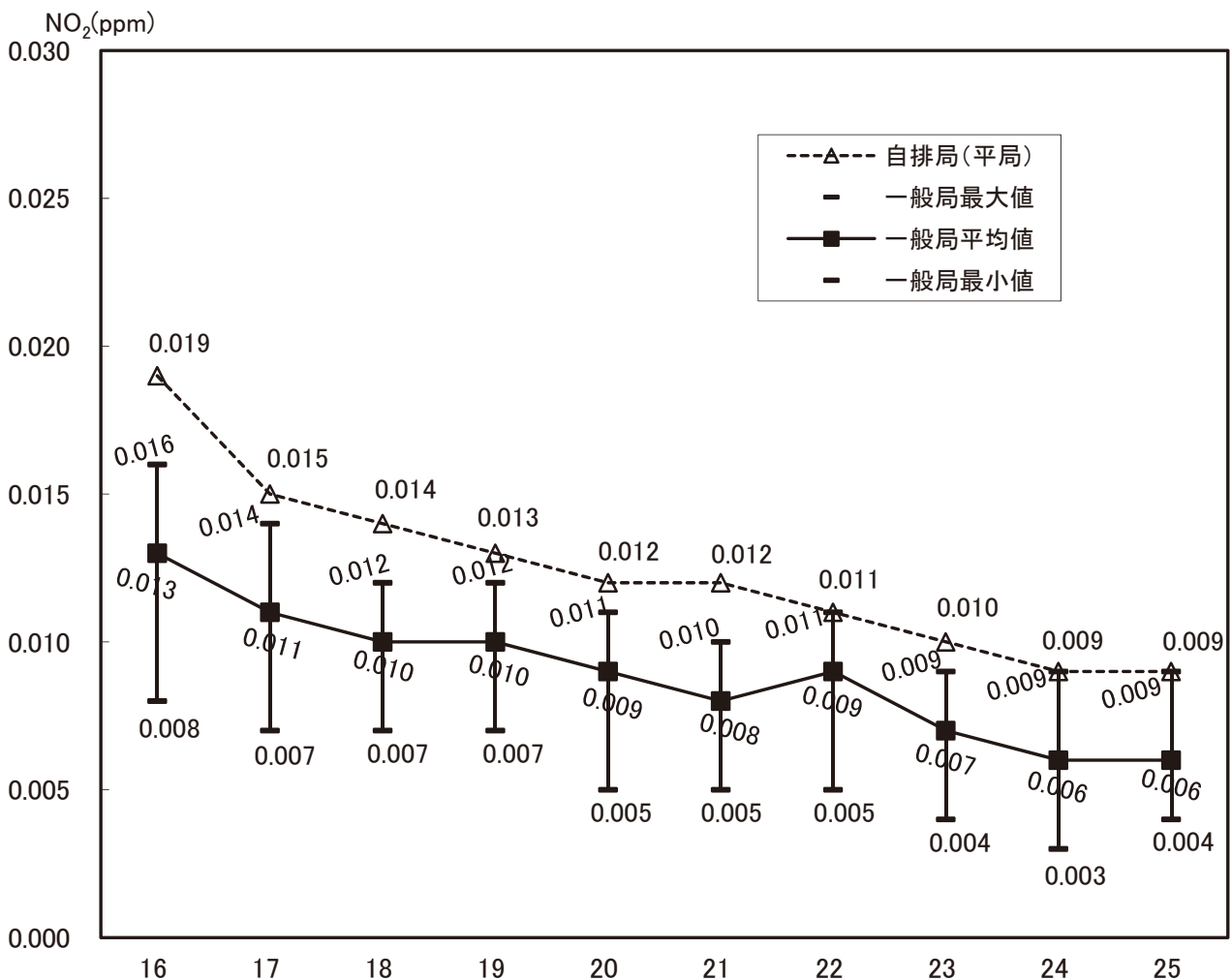


図3-3(2) 二酸化窒素の年平均値の推移

年度